



CSS への CiscoView Device Manager のインストール

CSS 用の CiscoView Device Manager (CVDM) は、ブラウザベースのグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) であり、次のような CSS の設定作業と管理作業を行うことができます。

- システム設定
- ブート設定
- SNMP
- インターフェイス
- 回線管理 (ウィザードを含む)
- 冗長性
- ロード バランシング (ウィザードを含む)
- サービス
- コンテンツ ルール

この章では、CSS に CVDM をインストールする方法、および CVDM へのアクセス方法について説明します。この章の主な内容は次のとおりです。

- [CSS への CVDM のインストール](#)
- [CSS からの CVDM の削除](#)
- [CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)
- [CSS の CVDM へのアクセス](#)

この章では、CVDM の設定方法については説明していません。CVDM にはウィザードがあり、インタラクティブに設定作業を進めることができます。各ウィンドウやステップで、定義、フィールドの値、および説明が状況依存オンラインヘルプにより提供されます。詳細については、『*User Guide for CiscoView Device Manager for the Cisco Content Services Switch (CVDM-CSS)*』を参照してください。

CLI から CSS を設定する方法については、[第 6 章「管理および設定作業と参照マニュアル」](#)に記載されている参照先をご覧ください。

CSS への CVDM のインストール

CSS に CVDM をインストールする前に、次の Cisco CCO Web サイトから Telnet または SSH バージョンの CVDM Zip ファイルを FTP サーバにダウンロードする必要があります。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/css11500-crypto>

FTP サーバの IP アドレス、ユーザ名、パスワード、および CVDM の Zip ファイルが存在するベース ディレクトリを記録します。CSS に CVDM のイメージをコピーするには、デフォルト FTP レコードとしてこれらの情報を CSS に設定する必要があります。



(注)

CSS で CVDM の SSH セッションを実行するには、セキュア管理ライセンスが必要です。

CVDM のインストールは、インストール スクリプトを使用するか、または CLI コマンドを手動で入力して行うことができます。インストール スクリプトでは次の作業が行われます。

- デフォルト FTP レコードがない場合には、FTP レコードが見つからないことが示され、FTP レコード作成のためのプロンプトが表示されます。
- インストールする CVDM Zip ファイルのバージョンを尋ねられます。
- CVDM Zip ファイルが CSS にコピーされます。
- Zip ファイルから CVDM のイメージが展開されます。

CSS ソフトウェアを手動でインストールする場合は、CLI コマンドを入力して、インストール スクリプトで実行される処理と同じ処理を行います。

CSS に CVDM をインストールするには、次の項を参照してください。

- [インストール スクリプトによる CVDM のインストール](#)
- [CLI コマンドによる CVDM のインストール](#)



(注) CSS に同時に格納できる CVDM ファイルは 1 バージョンだけです。CSS に CVDM が存在する場合に他のバージョンをインストールすると、既存の CVDM は新しいバージョンに置き換わります。

インストールされている CVDM の確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

インストールスクリプトによる CVDM のインストール

CSS の `install-gui` スクリプトでは、CVDM Zip ファイルが FTP サーバから CSS のルートディレクトリにダウンロードされ、ファイルが `/CVDM` ディレクトリに展開されて、Zip ファイルが削除されます。

インストールスクリプトでは、CVDM Zip ファイルがある FTP サーバへのデフォルト FTP レコードを設定する必要があります。CSS にデフォルト FTP レコードを設定していない場合は、FTP レコードの設定を指示されます。

`install-gui` スクリプトを使用して CVDM を CSS にインストールするには、次の手順に従います。

1. CSS にログインします。
2. SuperUser モードで、インストールスクリプトを開始します。

```
# install-gui
```

CVDM パッケージの Zip ファイルの名前を指定することもできます。指定しない場合は、5. でファイル名の入力を求められます。ファイル名は引用符で囲んで入力します。たとえば、次のように入力します。

```
# install-gui "cvdm-css-1.0.zip"
```

3. FTP サーバへのデフォルト FTP レコードが設定済みである場合は、5. に進みます。

設定していない場合は、次のメッセージが表示され、デフォルト FTP レコードを作成するかどうか尋ねられます。

You must create a DEFAULT_FTP record using the ftp-record command.

Example:

```
ftp-record DEFAULT_FTP x.x.x.x anonymous upgrade@ .
```

```
Would you like to create now? [y n q]?
```

次のいずれかを入力します。

- **y** : デフォルト FTP レコードをすぐに作成します。次のステップに進んで、レコードを設定します。
- **n** : スクリプトを終了します。

4. デフォルト FTP レコードを設定します。プロンプトで次のように入力します。

- b.** CVDM パッケージが存在する FTP サーバの IP アドレスを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Enter the IP Address of host:10.86.222.3
```

- c.** FTP のログインユーザ名を入力します。たとえば、次のように入力します。

```
anonymous  
Enter the username for Ftp login:eng
```

- d.** FTP のログインパスワードを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
upgrade@  
Enter the password for Ftp login:test
```

- e.** CVDM パッケージが存在する ベース FTP ディレクトリを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Enter Base Ftp dir:/images3/ftpbase
```

入力した情報を持つ FTP レコードが表示され、この FTP レコードを作成するかどうか尋ねられます。

```
IP Address: 10.86.222.3  
Ftp Login: eng  
Ftp Passwd: test  
Base dir: /images3/ftpbase  
Create ? [y n q]?
```

- f.** レコードの情報が正しい場合は、**y** を入力します。ステップ 5. に進みます。

情報が間違っている場合は、**n** を入力します。**b.** に示したように、IP アドレスの再入力を求められます。

5. プロンプトで、CVDM Zip ファイルの名前を入力します。たとえば、次のように入力します。

```
Please Enter Version to Install:cvdm-css-1.0.zip
```

スクリプトの開始時に CVDM Zip ファイル名を指定した場合、このプロンプトは表示されません。CVDM Zip ファイルのダウンロードが開始されます。ステップ 6. は不要です。

6. Zip ファイルの名前が正しい場合は、プロンプトで **y** を入力します。

```
Upgrade to Version cvdm-css-1.0.zip [y/n/q]? y
```

CVDM Zip ファイルがダウンロードされ、展開されます。

```
Attempting ftp of cvdm.zip:
# copy ftp DEFAULT_FTP ${new_gui_version_file} gui-image
Copying (\) 3,106,520
Completed successfully.
#
Unarchiving file now
(config-boot)# unpack-gui ${new_gui_version_file}
...(\) extracting: c:/CVDM/home.html
|) extracting: c:/CVDM/cv/applet.html
/|) extracting: c:/CVDM/cv/cvdm-cssmgr-1.0.sgz
\|) extracting: c:/CVDM/cv/diceloder.jar
|) extracting: c:/CVDM/cv/error.html
/|)creating directory: c:/CVDM/cv/images/
extracting: c:/CVDM/cv/images/splashscreen.gif
-)creating directory: c:/CVDM/cv/

(config-boot)#

GUI install completed Successfully.
# exit script
```

Zip ファイルの名前が間違っている場合は、**n** を入力します。ステップ 5. に進みます。

CVDM のインストールはこれで完了です。インストールの確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

CSS の CVDM へのアクセスを有効にする方法については、「[CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)」を参照してください。

CLI コマンドによる CVDM のインストール

CSS の CLI コマンドを使用して、手動で CVDM をダウンロードおよびインストールすることができます。CVDM を CSS にインストールするには、次の手順に従います。

1. CSS にログインします。
2. CVDM Zip ファイルが存在する FTP サーバへのデフォルト FTP レコードを設定します。

グローバル設定モードで、**ftp-record** コマンドを使用し、FTP サーバの IP アドレス、ユーザ名、パスワード、および CVDM の Zip ファイルが存在するベースディレクトリを指定します。たとえば、次のように入力します。

```
(config)# ftp-record DEFAULT_FTP 10.86.222.3 eng test  
/images3/ftpbase
```

3. CVDM Zip ファイルを FTP サーバから CSS にコピーします。

SuperUser モードで、**copy ftp** コマンドを使用します。キーワード **gui-image** を指定します。たとえば、**cvdm-css-1.0.zip** という名前の CVDM Zip ファイルを CSS にコピーするには、次のように入力します。

```
# copy ftp DEFAULT_FTP cvdm-css-1.0.zip gui-image
```

4. CVDM Zip ファイルを CSS に展開します。

ブート設定モードで、**unpack-gui** コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
(config-boot)#unpack-gui cdvm-css-1.0.zip  
...(\) extracting: c:/CVDM/home.html  
|) extracting: c:/CVDM/cv/applet.html  
/) extracting: c:/CVDM/cv/cvdm-cssmgr-1.0.sgz  
\) extracting: c:/CVDM/cv/diceloder.jar  
|) extracting: c:/CVDM/cv/error.html  
/)creating directory: c:/CVDM/cv/images/  
  extracting: c:/CVDM/cv/images/splashscreen.gif  
-)creating directory: c:/CVDM/cv/
```

```
(config-boot)#
```

CVDM のインストールはこれで完了です。インストールの確認方法については、「[CVDM のインストールの確認](#)」を参照してください。

■ CSS からの CVDM の削除

CSS の CVDM へのユーザ アクセスを有効にする方法については、「[CSS の CVDM へのアクセス有効化](#)」を参照してください。

CVDM のインストールの確認

CVDM が CSS にインストールされていると、**version** および **show version** コマンドにより CVDM のバージョンが表示されます。たとえば、次のように入力します。

```
# version
.
.
CVDM Version:  cvdm-css-1.0
```

CSS からの CVDM の削除

CSS にインストールされている CVDM を削除するには、ブート設定モードで **remove-gui** コマンドを使用します。たとえば、次のように入力します。

```
(config-boot)# remove-gui
```


CSS の CVDM へのアクセス有効化

CSS の CVDM へのアクセスを有効にするには、グローバル設定モードで **no restrict web-mgmt** コマンドを使用します。CVDM へのアクセスはデフォルトで無効になっています。

たとえば、次のように入力します。

```
(config)# no restrict web-mgmt
```



(注)

CVDM にアクセスするには、仮想認証を有効にし、使用する認証方法に応じて設定する必要があります。仮想認証はデフォルトで有効にされており、ローカルの CSS データベースを使用してユーザを認証します。仮想認証を無効にしてある場合、CVDM にアクセスするには、再度有効にする必要があります。仮想認証の設定の詳細については、『*Cisco Content Services Switch Security Configuration Guide*』を参照してください。

CVDM が有効になっている場合は、**running-config** に **no restrict web-mgmt** コマンドが表示されます。**running-config** を表示するには、次のように入力します。

```
# show running-config
!***** Global *****
virtual authentication
no restrict web-mgmt
```

CSS の CVDM へのアクセスを無効にするには、次のように入力します。

```
(config)# restrict web-mgmt
```



(注) インストールした CVDM のバージョンに応じて、CVDM は Telnet または SSH を使用してすべての設定変更を行います。デフォルトで、CSS は Telnet または SSH セッションへのアクセスを制限しません。ただし、これらのセッションに対するアクセスを制限するように設定した場合は、**no restrict telnet|ssh** コマンドを使用してアクセスを許可します。

CVDM の SSH バージョンをインストールした場合は、CSS で SSH を実行するためのセキュア管理ライセンスが必要です。

CSS の CVDM へのアクセス

CVDM を使用するには、管理者の権限を持つ CSS ユーザ名が必要です。CVDM は読み取り専用アクセスをサポートしていません。



(注)

1 つの CVDM セッションにつき、CSS で使用可能な 5 つの Telnet/SSH セッションのうち 1 つが使用されます。

CSS の CVDM にアクセスするには、次の手順に従います。

1. Web ブラウザで、[アドレス]または[場所]フィールド (ブラウザにより異なります) に CSS の IP アドレスを入力します。

たとえば、次のように入力します。

`https://161.16.2.3`

ポート 443 を使用する HTTPS のみサポートされています。

2. 有効な CSS ユーザ名とパスワードを入力します。

[セキュリティの警告]メッセージボックスが表示され、保護された接続でページを表示しようとしていることが通知されます。これは、インターネット上の保護されたページに接続しようとするときに表示される Web ブラウザ標準のメッセージボックスです。

3. [はい]をクリックします。CVDM の認証ダイアログボックスが表示されません。
4. 認証ダイアログボックスに有効な CSS 管理ユーザ名とパスワードを入力します。

認証が成功すると、ブラウザ ウィンドウに CVDM のホーム ページが表示されます。

CVDM のウィザード、各ウィンドウまたはステップの定義、フィールドの値、および説明については、『*User Guide for CiscoView Device Manager for the Cisco Content Services Switch (CVDM-CSS)*』を参照してください。

以降の内容について

第 6 章「管理および設定作業と参照マニュアル」では、CSS の管理作業と設定作業が説明されているマニュアルと章、および CSS の管理と設定に関する各マニュアル、およびユーザマニュアルの各章の概要を示します。